

にぎわい通信

会員だより

令和4年度8月号「にぎわい通信」265号を発行しましたのでご案内いたします。今回は富山県富山市、石川県金沢市におけるにぎわいの様子を紹介いたします。

物流・人流の歴史を体験できる水辺空間 「みなとオアシス富山」が登録されました

令和4年7月14日に「みなとオアシス富山」が、北陸管内で18箇所目（県内4箇所目）、全国で155箇所目の「みなとオアシス」として登録され、「岩瀬カナル会館」で登録証交付式が行われました。本登録により、県内の全ての港湾がオアシスのネットワークで繋がりました。

富山県
富山市



今回登録された「みなとオアシス富山」の代表施設である「岩瀬カナル会館」は、江戸時代から明治時代にかけて北前船で栄えた歴史ある港町「岩瀬地区」の観光拠点であり、7月に開催される「岩瀬みなと祭り」では、江戸時代から伝わる富山市指定無形民俗文化財の民謡「岩瀬まだら」が披露されます。また、周辺の構成施設「北前船廻船問屋森家」や「旧馬場家住宅」では、北前船主（廻船問屋）の住宅を見学できます。



代表施設「岩瀬カナル会館」

構成施設「富岩運河環水公園」から「岩瀬運河」を結ぶ運河クルーズ「富岩水上ライン」では、運河の中間にある構成施設「中島閘門」において、高低差2.5mの水位調整を行う「水のエレベーター」を体験することができます。10月に開催される「運河まつり」では、運河クルーズの特別便が運航されるなど多くの人で賑わいます。

今回のみなとオアシス登録により、地域一体となった取り組みや魅力向上により、更なる賑わいを見せてくれることを期待しています。



「みなとオアシス富山」の構成施設



登録証交付式の様子
(左:衛藤海洋・環境課長、右:藤井市長)

金沢港クルーズターミナルで「港フェスタ 金沢2022」が開催されました

石川県
金沢市



令和4年7月16日（土）金沢港クルーズターミナル（愛称：ひゃくまんごくマリテラス）において、「港フェスタ金沢2022」が開催されました。

港フェスタ金沢は、例年「海の日」に、「海・港・関わる人と仕組み」に関する理解を深めて頂き、港の賑わいを躍進させるため開催しています。令和2年と令和3年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、今回は3年ぶりの開催となりました。

供用されてから初めての港フェスタ開催ということもあり大勢の家族連れで賑わい、金沢港クルーズターミナルの一日の来場者数としては、過去最高の約1万3,000人を記録しました。

当日は、海上安全祈願祭を皮切りに、海上保安庁巡視船「さど」の一般公開や当事務所港湾業務艇「わかなⅡ」による港内見学、金沢港の港湾施設等を紹介する見学バスツアーの他、無量寺埠頭の特設ステージでは、地元の学生や警察音楽隊によるステージショーなどが行われました。

また、同イベントにあわせて、金沢港クルーズターミナル内の特設会場で、「2022コマツ金沢工場フェスタ」も同時開催され、大いに賑わいました。



大勢の来場者でにぎわう無量寺ふ頭



海上保安庁巡視船「さど」



2022コマツ金沢工場フェスタの様子



わかなⅡによる港内見学



VRを用いた港湾施設見学体



みなとオアシスの展示ブース

事務局からのお知らせ

日本海にぎわい・交流海道ネットワークとして3年ぶりとなる総会が、令和4年10月6日（木）に稚内市において開催されます。

総会に加え、クルーズ船社及び風力発電企業による講演会や、クルーズ船社との意見交換会（商談会）、現地視察など様々な内容を盛り込んで開催することとなっておりますので、首長様をはじめ、会員の皆様のご出席をお待ちしております。

【総会会場】

サフィールホテル稚内 北海道稚内市開運1-2-2

【スケジュール】

令和4年10月5日（水）

15:00～17:30

クルーズ船誘致に関する船社との意見交換会

令和4年10月6日（木）

14:00～15:00

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

15:00～17:30

シンポジウム

講演：「世界のクルーズ動向と日本海側港湾の可能性」

コスタクルーズ 日本・韓国営業本部長 小早川 隆信氏

講演：「道北地域の風力発電事業の現状と稚内港の利用状況について」

(株)ユーラスエナジーホールディングス

国内事業第二部長兼稚内支店長兼札幌支店長 加藤 潤氏

18:00～19:30

交流会

令和4年10月7日（金）

9:00～11:55

現地視察



稚内港北防波堤ドーム



宗谷岬：日本最北端の地の碑



宗谷丘陵